

令和4年(2022年)1月 花き部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年1月 数 量	2022年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	切花	キク	愛知県が主要産地です。生育が良好で入荷量はやや増加しました。堅調な業務需要により相場が強く、平均単価はかなり高く推移しました。	644,488	60	108%	135%
2		バラ	群馬県が主要産地です。作柄が良く入荷量は増加しました。堅調な業務需要により相場が強く、平均単価は高く推移しました。	87,621	95	118%	120%
3		カーネーション	千葉県・コロンビアが主要産地です。作柄が良く入荷量はかなり増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	386,775	44	142%	109%
4		かすみ草	熊本県・和歌山県が主要産地です。作柄が良く入荷量は増加しました。堅調な業務需要により相場が強く、平均単価はかなり高く推移しました。	40,710	102	119%	139%
5							
6	鉢物	プリムラ	神奈川県・埼玉県が主要産地です。作柄が良く入荷量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	22,600	86	132%	83%
7							
8							

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上